



TIAニュース



財団法人栃木県国際交流協会
Tochigi International Association

やあ!

2000
JANUARY
No.65

1



▲1999年12月4日、二荒山神社・東照宮・輪王寺を中心とする栃木県日光市山内地区の「日光の社寺」が世界遺産に登録された。世界遺産への登録は日本で10番目、また、文化遺産としては、東日本で初めての登録である。登録エリアは50.8ヘクタールで、103棟の建造物が含まれる。写真的日光東照宮の陽明門は国宝にも指定されている。(写真提供:栃木県教育委員会)

青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介
シリーズ NO.15

ルーマニア

TIAホームページ

URL <http://www.pto.co.jp/tia/>

◆ J E T コーナー ジョアン・アラタさん (アメリカ出身)

◆ レポート インディアナ州副知事団来県
国際交流シンポジウム開催
青年海外協力隊帰国隊員報告会
国際シンポジウムin宇都宮
～わが街の『日本語教育』を考える

新年のごあいさつ

財団法人栃木県国際交流協会

理事長 今井 聰彦



あけましておめでとうございます。2000年という新たな年が、皆様にとりまして健康と幸せに満ちた1年になりますことをお祈り申し上げます。また、日頃から当協会の運営につきまして、温かいご支援、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、旧年を振り返り、新しい年に向けて、いくつか記してみたいと思います。

昨年7月、栃木県はアメリカのインディアナ州と姉妹提携をし、英語圏との交流に新たな1歩を踏み出しました。この姉妹提携に合わせて、本県から産業交流調査団や

伝統工芸団などが派遣され、現地との交流が図られましたが、今後、より一層、幅広い分野での交流が展開されることを期待いたします。

ここ数年、パソコンの普及にはめざましいものがあります。我が国におきましても10年前には約12%だったパソコンの家庭への普及率が99年には50%を超えるに至りました。これに伴い、インターネットへの接続が当たり前になり、海外のあらゆる情報がリアルタイムで検索できるなど、世界がより身近になってまいりました。こうした情報化の進展が、社会の国際化を一層進める大きな要因の一つともなっておりますが、97年11月に開設いたしました当とちぎ国際交流センターのインターネットコーナーも、開設以来、在県外国人や県民の方々に広く活用していただいております。なお、当協会を紹介するホームページで、日々、県内の国際交流団体の活動状況をご紹介いたします。

90年から、宇都宮市のあけぼの公園で開催してまいりました「とちぎインターナショナルフェスティバル」を、昨年は、当センターにおいて、2日間の日程で開催いた

Happy New Year!

I hope the year of 2000 brings you much health and happiness.

I appreciate your support and cooperation with us.

In order to welcome the new year, I would like to take a moment to reflect on this past year.

In July of last year, Tochigi signed a sister-state agreement with Indiana in the United States, marking its first step in furthering exchange with an English speaking country. During this occasion, business and agricultural groups as well as cultural performers, were sent over to introduce Tochigi to the people of Indiana. I hope that more and more exchanges will occur between our two areas in future.

Ten years ago, the percentage of families owning a computer was only 12%, but these days that percentage has grown to nearly 50%. With this growth in computer use, internet use and the ability to stay in touch with information overseas has increased as well. The world has become an even smaller place due to this progress in information technology, thus helping to further global internationalization. In keeping with this idea, the Tochigi International Center founded the internet corner in November of 1997, and has since been used by numerous foreigners as well as Japanese ever since. We are also planning to introduce international exchange groups in Tochigi on our home page, coming soon.

Since 1990, we have held the Tochigi International Festival in Utsunomiya's Akebono Park, but last year we held it for two days, here, at the Tochigi International Center. Lectures, including international cooperation and international exchange were held on the first day, while the second day was a fun-festival-like atmosphere. In order to make the festival more successful and effective in the years to come, we kindly ask for your ideas and support.

The total number of visitors seeking advice at the counseling corner here was 1500 last year. Many visitors to the center came here to ask advice about daily life in Japan, but recently, we find that some people come to our counseling corner to ask information on the revised law of Immigration control and refugee recognition act taking effect in February. We strongly feel that providing information like this to foreign residents is important.

We would like to promote activities that meet the demands of the times, so that both Japanese and foreigners living in Tochigi have mutual understandings of each other and live harmoniously together. Furthermore, we would like to contribute to bringing up future internationally-minded generations who will take an active role in the 21st century. I sincerely look forward to the continued support of all our friends and associates.

Masahiko Imai, Chairman of Directors,
Tochigi International Association.

しました。1日目はこれからの国際交流や協力を考える講座等を中心に、又、2日目は楽しいお祭り的なものを中心に行催しましたが、地域の国際化を考えていく上でより効果的なものとなりますよう、皆様とともに工夫していきたいと思います。

当協会の相談コーナーでは、昨年、1500件の相談を受け付け、処理をいたしました。毎日、日常生活にかかわる多くの相談が寄せられておりますが、最近、2月に施行される改正入国管理法の内容に関するお問い合わせが少なからず見受けられます。在県外国人の方々への情報提供の重要さを改めて感じているところであります。

当協会といたしましては、本年も、時代のニーズに合った事業の展開に努め、県民と在県外国人とがお互いに理解を深め、信頼しあいながら生活していくような地域の実現に向けて努力していく所存であります。特に、21世紀に向けて、若い世代の国際化を推し進める事業も模索していきたいと考えておりますので、皆様方の一層のお力添えをお願い申し上げ、ごあいさついたします。

知ってて得する なんでもQ&A

[インターンシップって何ですか？]

Q. 最近、よく「インターンシップ」という言葉を耳にしますが、どういう意味ですか。また、海外に長期滞在できる方法だと聞きましたが本当でしょうか。

A. インターンシップとは、もともと欧米諸国で広まった制度で、大学・短大・専門学校生が、在学中の一定期間、就職するのに必要な知識や経験を得ることを目的に、実際に企業などで働くことができるという研修制度です。申請方法は実際の就職活動と同様で、個人でインターン先を探します。給与はインターン先によって様々です。これは外国籍の生徒（正規留学生）も同様の扱いになります。ただし、勉強している専門分野と関連のある業種に限ります。

ただ、日本から外国に行く、国際インターンシップについては解釈が異なり、留学するには金銭的余裕がないものの、海外に長期滞在して経験や視野を広げたいと思っている人のためのプログラムに多くこの言葉が使われています。インターンシップ期間は1か月～1年と幅があります。

JETコーナー

外国语指導助手
ジョアン・アラタさん
(アメリカ出身)

「日本では何が起こるかわからないから、念のためにお父さんのズボンを持っていった方がいいよ」「ストーカーされたら、そのズボンを外に干しておくんだよ」と、来日前に、ハワイで日本人の友人からアドバイスを受けました。日本は安全で、しかも何が起こるかほぼ予測できそうな場所であるのに、なぜそのようなことを言われるのか理解できませんでした。

私の名前はジョアン・アラタ。J E Tとして2年半、日本に滞在してみて、ようやく私の友人の言っていたことが正しいと理解できるようになりました。日本は何が起こるかわからないのです。何が起こるかわかっているようでも、それとは逆のことや極端なことが起こりうるのです。以前、私が途方にくれていた時、一見「紳士的」な電車の乗務員が私に怒鳴りつけてきたり。そうかと思うと、一見「得体のしれない」人が、困っている私を見て、親切に道案内してくれたり。日本には、とても興味深い両極端なことが多く存在していると思います。それらを実際に経験し、目で見ることによって、本当の日本が理解できるのではないかという気がします。奇妙でありながらも



らおもしろく、過激ですが美しく、不愉快に感じるけれど興味をそそられるといったことがたくさんあります。ほとんどいつでも何が起こるのか想像もつきません。ただ、いまだに父のズボンを外に干したことはありませんが、いつ、そうすることが必要になるのかは、この予測可能な日本社会にいても誰もわからないのです。

ジョアン・アラタ

Joanne Arata

"Take a pair of your dad's pants, just in case, because you never know what to expect in Japan," "You're supposed to hang them outside in case of stalkers you know," was the advice given to me by my Japanese friends in Hawaii before coming to Tochigi, Japan. I thought to myself why would they say such a thing about such a peaceful, and predictable place? My name is Joanne Arata and since then it's been almost two and a half years since I've been here on the JET Programme and I've come to learn that they were right. You never know what to expect in Japan and just when you think you know what's going on, something opposite and extreme happens. I've had experiences such as "nice looking" train men yelling at me because I didn't know what was going on, all the way to the "unique looking" stranger on the street kindly walking me half way down town to help me find my way. I think that Japan is full of interesting opposite extremes and seeing and experiencing them for yourself opens your eyes to the real Japan. Many things are strange yet interesting, eye sore yet beautiful, and even annoying yet catchy. It's these kinds of extremes that are most interesting to me. You almost always and never know what to expect and even then something else happens. Well, I haven't had to hang any pants up yet, but who knows you never know what to expect in "predictable" Japan.

コラム

ポケモンで イングリッシュ

今、アメリカではポケモン (pokemon) ことポケットモンスター (pocket monsters) が大人気なのだと。関連商品も人気を集め、米国内販売のグッズのほか、日本からの輸入グッズを欲しがる子供も多いという話である。

昨年秋から、アメリカで放送された英語版を副音声としたポケットモンスターの再放送が行われているが、日本語版と英語版では微妙に内容が異なる上、登場キャラクターの名前等も違っていることがあり、内容がつかみづらいことがある。主な違いは以下のとおり。

登場人物の名前

サトシ⇒Ash (アッシュ)
カスミ⇒Misty (ミスティ)
シゲル⇒Gary (ゲイリー)
オーキド博士⇒Professor Oak
(プロフェッサー オウク)
ムサシとコジロー⇒Jesse and James
(ジェシー アンド ジェイムズ)

場所の名前

マサラタウン⇒Pallet Town
(パレットタウン)
ニビシティ⇒Pewter City
(ピューターシティ)
ハナダシティ⇒Cerulean City
(セルリアンシティ)

ポケモンの名前

アーボ⇒Ekans (エカヌス)
イシツブテ⇒Geodude (ジオドゥード)
イワーク⇒Onix (オニクス)
カイロス⇒Pinsir (ピンスー)
コクーン⇒Kakuna (カクーナ)
サンド⇒Sandshrew (サンシェロー)
スピア⇒Beedrill (ビードリル)
ゼニガメ⇒Squirtle (スクイートル)
ドガース⇒Koffing (コーフィン)
トサキント⇒Goldeen (ゴールディーン)
トランセル⇒Metapod (メタボ)
ニヤース⇒Meowth (ミヤウス)
ピジョン⇒Pidgeotto (ピジョート)
ヒトカゲ⇒Charmander (チャラマンダー)
ピッピ⇒Clefairy (クラフェアリー)
フシギダネ⇒Bulbasaur (バルバソ)
ポッポ⇒Pidgey (ピジー)

ちなみに1番人気のピカチュウ (Pikachu) は、日本語も英語も同じ名前。また、自分の名前を鳴き声にしているポケモンは、日本語と英語では鳴き声が違うことが多い。

TIA日誌

1999年11月1日～1999年12月31日

- 11/2 日仏青少年短期研修事業フランス高校生受け入れ (~14日)
外国人のための法律相談会 (センター)
- 11/6 インディアナ州副知事団歓迎昼食会 (宇都宮グランドホテル)、県内視察 (~7日。受入: 栃木県)
- 11/7 国連英検一次試験 (センター)
- 11/9 海外技術研修員・県費留学生県外視察 (~13日)
- 11/23 國際協力シンポジウム (主催: 栃木

県JICA専門家連絡会ほか。宇都宮大学)

11/27 国際シンポジウムin宇都宮 (~28日。主催: いっくら国際文化交流会。共催: TIAほか)

12/10 海外技術研修員受入機関担当者合同打ち合わせ会議 (センター)

12/11 県民訪中団写真交換会 (センター)

12/12 青年海外協力隊一次選考(センター)

12/20 「TIAニュースやあ! on TV」放映 (とちぎテレビ)

12/21 日仏青少年短期研修事業派遣生徒選考会、日仏青少年短期研修事業第二回実施委員会 (センター)

*センター: とちぎ国際交流センター

ルーマニア ROMANIA

国土面積は日本の本州とほぼ同じ程度。

北部はウクライナ、東部は黒海とモルドバ、南部はブルガリア、西部はハンガリーとユーゴスラビアに接している。

国土の40%は農地、森林が28%、牧草地が約20%。主要作物は、麦、とうもろこし、ひまわり、テンサイ、じゃがいも、ぶどうなど。木材生産量は約13億5千万立方メートル。主要畜産物は牛、豚、羊、山羊など。ほかに鉱物資源も豊富。

ゼロからのスタート

私が派遣された国ルーマニアは、平成9年に協力隊の派遣が始まったばかりで、私はその初代隊員4名の中のひとりです。他にはスポーツの隊員が3人だけという、ゼロからのスタートでした。協力隊の場合、任国に入国してから3週間の語学研修を経て任地に赴任するんですが、初めてということからか、現地での受け入れ体制が整っておらず、語学研修のあと、トランシルバニア地方で2週間過ごしてから任地入りしました。私の任地ヤシは、ルーマニアの首都ブカレストから電車で6時間半ほどかかる場所で、国内では大きい都市の中のひとつです。任地で最初に提供された部屋は教員宿泊所だったのですが、シャワーもキッチンも机もないところ。その後移った学校の寮もやはりキッチンがなかったんです。また、私は1人部屋だったんですが、同じ寮に住む学生は10人部屋に入っていて、非常に騒がしい上に、部屋がわかかれている男子と女子が壁を叩いて連絡を取り合ったりしていたので、とにかくうるさかった。現地スタッフの人にお願いして、2年目にアパートに引っ越ししてからは普通の生活が送

案内人

木野悦子さん(足利市在住) 栃木県立足利南高等学校教諭(英語)



大学卒業後、赴任した学校や転任先の教員仲間に帰国隊員がいたことで協力隊について知る。海外に日本を伝えたいという思いから協力隊を受験。1997年7月から1999年8月までの2年間、ルーマニアのヤシで日本語を含む日本文化の指導にあたる。現職参加。

ルーマニアへの派遣は97年からで、木野さんは、その初代隊員の中のひとり。

れるようになりました。

▶木野さんの任地ヤシの市街地



試験の時はマイペーパー持参

ルーマニアでは教室の数が足りないため、学校の登校が2部制になっているんです。前半登校の生徒は朝8時から午後2時くらいまで授業を受け、後半登校の生徒は午後2時から夜8時まで授業を受けます。前半か後半かは学校で決められてしまうので、自分で登校時間帯を選ぶことはできません。

▶日本から寄付された本を手にする木野さんと日本語受講生



教育現場では物が不足しているんです。向こうではそれが当たり前なんですが。教科書もわら半紙の様なものですし、コピーもない。また、試験の時は、教師が口頭、もしくは黒板に書いて出題した問題の答えを自分が持参した紙に書いて提出するんです。問題用紙と答案用紙が当たり前に配られる日本から行くと驚きますよね。

学校では授業をするだけで終了式の後に行うダンスパーティーを除き、学校行事のようなものもないし、

部活動もありません。でも、これに替わる役目をしている施設がどの地域にもあるんです。こうした施設は「子供宮殿」と呼ばれ、小学生から高校生、時には大学生までが通って来ています。一応、自主参加なんですが、学校以外の友達ができる社交の場になっていることもあります。参加する子が多いですね。講座は学校の勉強以外の教養を深めるためのものが多く、外国語講座はもちろんのこと、芸術、技術、理系講座など、多岐にわたっていました。私はこの子供宮殿で、日本語や生け花のほか、お茶、折り紙、和紙人形制作などを教えていました。子供宮殿では発表会などもしていて、各語学講座の生徒たちが演劇上演会を開催した時、私の生徒たちは「ももたろう」の芝居をやりました。

▶「ももたろう」の劇を上演する日本語講座の受講生



授業中に寝ない生徒たち

子供たちは明るく、真面目で、素朴で純粋。日本だと授業中に寝ている生徒がけっこういますが、ルーマニアでは生徒は積極的に授業に参加し、寝ている生徒には1度も出会いませんでした。授業時間は向こうは120分と、かなり長いんですけども。

高校生の余暇の過ごし方も日本とはかなり違っていて、普段は散歩したりして過ごすんですよ。日曜にお店が閉まっていることもあり、お金を使わずに遊んでいます。

◀日本語の指導をする木野さん





▶ 市場でさくらんぼを売る青年。ルーマニアでは食材は市場で購入する。



料理の基本は手作り

私は最初の1年はキッチンのない生活をしていたこともあり、部屋ではパンや果物などを食べて過ごして



► ママリガとサルマーレ

いましたが、一般的に、ルーマニアの人はママリガを主食として食べています。ママリガとはトウモロコシの粉に水を混ぜて練って作るパンのようなもの。あとはチーズなどの乳製品をよく食べますね。ルーマニアの乳製品はとても美味ですよ。ヨーグルトなども酸味があまりなくておいしいです。また、サルマーレと呼ばれるルーマニア風ロールキャベツもよく食卓にのぼります。サルマーレは、お米や挽き肉などをキャベツやぶどうの葉で包んで作る料理です。

ルーマニアの人ってあまり外食をしないんですよ。食事はもちろん、ケーキなども手作りで作って食べています。売っているお店もあるんですが、お店で買うより手作りのものの方がおいしいかったりするんですね。

オフィスに自家製ウォッカが常備

飲み物も、ジュース、コーラなどの甘い



◀ 民族衣装を着た子供たち

ものが好まれます。コーヒーはドロっとしたトルココーヒーで、砂糖をたくさん入れて飲んでいます。ところで、職場でタバコは駄目なんですが、なぜかアルコールはOKなんですよ。オフィスに自家製のウォッカまで常備してあって、皆、飲みたいときに飲んでいました。

今でも現役の馬車

ルーマニアの交通手段は、トランバイと呼ばれる路面電車かトロリーバスかバスな



▶ 馬車は今でも交通手段のひとつ
ですが、馬車もいまだに使われているんです。首都のブカレストにも馬車は走っていますよ。てくてく歩いていると馬車の乗客から「乗ってけば？」なんて声をかけられたりして。乗り心地も悪くはなかったです。

最大のビッグイベント・イースター

ルーマニアの国教はルーマニア正教。1年のうちでもっとも大きくお祝いするのは、キリスト復活のイースターです。ゆで卵に色や模様をつけ、たくさんごちそうを作つてお祝いします。イースターの日は各自1

本ずつ、ろうそく持参で教会に行き、神父様に火を灯してもらって火を絶やさないようにしながら家まで帰るんです。もし、途中で火が消えたら、道行く人にわけてもらいます。



敬虔な信者的人は、イースターの前に断食しますね。

冬の路上はスケート場

ところで、ルーマニアは、夏と冬の温度差が激しいんです。雪に埋もれる冬、外を歩いていると、たまにスケート靴で道を歩いて（滑って？）いる人に会いますよ。



れる
ルーマニアの冬は雪に覆わ

データ



[国旗の意味]

王政時代に定められた青・黄・赤の三色旗。チャウシェスク政権中には中央に紋章が入れられたが、政権崩壊後、取り除かれた。

ルーマニア

①面積	238391km ²
②人口	2265万人(96年)
③首都	ブカレスト
④主要言語	ルーマニア語
⑤民族構成	ルーマニア人(約90%)
⑥宗教	ルーマニア正教(約87%)ほかにカトリックなど
⑦通貨	レイ
⑧元首	大統領
⑨その他	協力隊員の派遣人数18人 栃木県からは1人

レポート

インディアナ州副知事団来県

栃木県と友好交流関係にあるアメリカ・インディアナ州の貿易・投資ミッション団(団長:ジョセフ・カーナン副知事)34名が週末を利用して栃木県に来県した。一行は11月4日から10日まで日本に滞在し、名古屋や東京などで貿易・投資セミナーに出席したほか、会社訪問などを行った。

栃木県滞在中は、知事主催の昼食会等に出席したほか、那須や日光などの主だった景勝地を視察。日本滞在後はソウルで同様のセミナーに出席するため、韓国に向けて日本を後にした。



国際シンポジウム㏌宇都宮～わが街の『日本語教育』を考える

11月27日、28日の2日間、外国人への日本語教育について考えるシンポジウムが開催された(主催:いっくら国際文化交流会共催:TIAほか)。

第1日目は外国人によるスピーチコンテストと交流パーティーを、2日目には「日本語教室」をテーマに4つの分科会を開いた後、先進的な活動をしている県外の関係者をパネリストに招き、パネルディスカッションを開催。地域に住む外国人の日本語学習の現状や課題について検討するなどの意見交換が行われた。



第1日目スピーチコンテスト授賞式

国際交流シンポジウム開催

11月23日、宇都宮大学の多目的ホールを会場に、国際協力シンポジウムが開催された(主催:栃木県JICA専門家連絡会、国際協力シンポジウム実行委員会。共催:国際協力事業団関東支部)。

前半では、宇都宮大学国際学部教授の友松氏が「国際協力とは何か~日本の国際協力の現状と課題」をテーマに基調講演を行い、後半部分では、JICA専門家や青年海外協力隊など、海外協力に携わった経験のある日本人や、宇都宮大学の留学生などが体験を元に問題を提起。何ができるかを話し合った。



青年海外協力隊帰国隊員報告会

12月17日、大田原市の国際医療福祉大学を会場に、青年海外協力隊帰国隊員報告会が開催された(主催:栃木県青年海外協力

隊OB会、国際医療福祉大学、国際協力事業団関東支部)。当日は、2名が体験談を披露した。

ラオスでの経験を語った佐貫さんは、臨床検査技師として総合病院に勤務。現地では、小学生を対象に寄生虫の治療や疾病予防治療を行ったり、検査技術セミナーの開催をした。「活動してみて、自分ではよかれと思って実施したことでも、相手国の文化や考え方の違いから、逆に迷惑だったりすることもあった」と国際協力の難しさを語った。

一方の山本さんは、インドネシアのスマウェシ島の知的障害者施設で活動。隊員が初めてはいる任地で、現地の生活情報を手にいれるのすら困難な状況だったとか。現地では、異なることを認めることが自分を大切にすることを学ぶなど、自分が大きく成長する2年間だったという。



佐貫さん
(右端)
現地
(ラオス)
で活動中の



山本さん
(中央)
現地
(インドネシア)
で活動中の

中国のお正月

中国では、新暦の1月1日は一応祝日になっていますが、やはり盛大に祝うのは旧暦の正月です。

今年の中国の除夕(大晦日)は2月4日、正月は5日から始まります。正月の初めの日は1月下旬~2月上旬と、年によって違います。日本では大晦日には年越しそばを食べますが、中国では餃子を食べます。これは中国の古い伝承で、「年」が悪い獣を表わし、この獣をやりすごす(=交)という意味を込めて餃子(交子)を食べるようになりました。ですから、年越しをすることを過年(guo nian)といいます。餃子を食べる時間は子の刻、つまり除夕の夜11時から翌日の深夜1時にかけてです。以前、中国では、除夕に爆竹を鳴らすのが常でしたが、火事・騒音・ゴミなどの問題もあり、最近では、ほとんどの都市部で爆竹をならすことは禁止されています。その代わりに、各自治体が花火をあげたりしています。

明けて初一(元旦)の日は、家族と一緒に過ごします。初一には、大人は中に甘い餡を入れたもち米で作った団子を食べ、1年間団欒が続くことを祈ります。子供は「年糕」と呼ばれる餅を食べます。食べ方は、スープに入れたり、焼いたりと様々です。子供が餅を食べるのは、「糕」の発音が「高」と同じことから、あらゆる成長を願ってのことです。

初二以降は、友人と過ごしたり、同僚を誘って食事をしたりします。また、伝統行事である獅子舞などは1週間位たってから行われます。ほかに、15日は小正月といつて灯籠祭りのようなことが行われます。

(栃木県国際交流員・毛依群 談)

►旧暦1月15日は中国の小正月
ではあたり、浙江省の多くの地方
をして祭日を祝う



中国浙江(浙江摄影出版社発行)より

情報発信 地域の国際交流案内

★小・中・高校生のための国際交流事業

文部省所管の財団法人国際青少年研修協会では、2000年春休みのホームステイ、学校体験、英会話研修、野外活動の参加者を募集しています

(1)「春休み海外派遣事業」(中1～高3)

▶派遣先=アメリカ・イギリス・オーストラリア・ニュージーランド・カナダ▶期間=2000年3月21日～4月3日(カナダのみ3月25日～4月5日)▶内容=ホームステイ、学校体験、英会話研修、地域見学、文化交流会など▶募集人数=126名(書類選考あり)▶参加費=32万5千円～36万5千円▶締切=2月1日

(2)「冒險に夢のせて なんでもやろうぜ無限大 南の島丸ごと体験教室～サイパン編」(小4～中3)

▶期間=3月26日～31日▶内容=英語にチャレンジ、海での活動、釣り、学校訪問など。宿泊はコテージ。▶募集人数=150名(先着順)▶参加費=①11歳以下は13万8千円、12歳以上は14万円▶締切=2月18日▶資料請求・問い合わせ先=財団法人国際青少年研修協会 〒160-0004 東京都新宿区四谷2-11 大村ビル3階 TEL.03-3359-8421 FAX.03-3354-2207 電子メールkskk@ta2.so-net.ne.jp

★中・高校生のための春期海外研修

英語研修とホームステイをメインとするプログラム。現地での授業時間は15時間の予定(イギリスのみ12時間)。他に地域見

学なども行う。ホームステイ中は1家族に2名で滞在する。成田空港施設使用料及び各国の空港税等は旅行代金とは別に徴収。各コースとも添乗員が同行。

(1)イギリス「オックスフォード英語研修とホームステイ体験」▶期間=2000年3月26日～4月3日▶募集人数=25～30名▶参加費=32万8千円

(2)アメリカ「カリフォルニア英語研修とホームステイ体験」▶期間=2000年3月26日～4月3日▶募集人数=25～30名▶参加費=32万8千円

(3)「カナダ(バンクーバー)英語研修とホームステイ体験」▶期間=2000年3月26日～4月2日▶募集人数=25～30名▶参加費=29万8千円

(4)「オーストラリア(ケアンズ)英語研修とホームステイ体験」▶期間=2000年3月25日～4月4日▶募集人数=25～30名▶参加費=32万8千円

▶問い合わせ・申し込み先=日通旅行 〒321-0964 宇都宮市駅前通り1-2-5 TEL.028-625-5064 FAX.028-622-4974 ▶旅行企画=財団法人日本国際連合協会

★第3回 国際交流のつどい

▶実施日時=2000年2月20日午前11時～午後1時▶実施場所=サンプラザ(栃木市片柳町2-2-2)▶参加対象=栃木市国際交流協会会員、栃木市民、在住外国人▶内容=各国食文化体験交流、日本文化体験、アトラクション▶参加費=会員500円、会員以外1000円、外国人500円▶問い合わせ=栃木市国際交流協会 〒328-0031 栃木市日の出町14-36 市民会館内 TEL.0282-25-3792

★アメリカ・カナダ高等学校交換留学

▶留学期間=(1)留学準備プログラム参加コース:2000年7月の1学期終了後～2001年

6月 (2)レギュラーコース:2000年8月中旬～2001年6月▶留学費用=アメリカ(1)127万円、アメリカ(2)99万円／カナダ(1)157万円、カナダ(2)129万円▶募集締切=2000年1月31日▶資料請求先=AISE(アイセ)日本事務局 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-30 神宮前ベーシックビル3階 TEL.03-5770-5923

★第15回春期ジュニア大使友情使節団

外務省の外郭団体である社団法人日本外交協会では、中学生～20歳未満を対象とした国際研修を開催します。各コースとも添乗員が同行します。

(1)イギリス班▶国内研修=2000年3月21日～22日▶海外研修=2000年3月23日～4月4日▶募集対象=高校生以上帰国時20歳未満の学生▶募集人数=30名▶参加費=旅行代金52万8千円+国内セミナー代金4万6千円

(2)オランダ班▶国内研修=2000年3月27日▶海外研修=2000年3月28日～4月5日▶募集対象=中・高校生▶募集人数=30名▶参加費=41万8千円+事前研修費3万5千円

(3)米国テキサス班▶国内研修=2000年3月26日▶海外研修=2000年3月27日～4月4日▶募集対象=中学生▶募集人数=35名▶参加費=40万8千円+事前研修費3万5千円

(4)マレイシア班▶国内研修=2000年3月24日▶海外研修=2000年3月25日～4月1日▶募集対象=小4以上中3まで▶募集人数=30名▶参加費=12歳未満29万5千円、12歳以上29万8千円+事前研修費3万2千円▶使節団に関する問い合わせ=日本外交協会国際事業部 〒106-0041 東京都港区麻布台3-1-2 飯倉セントラルビル4階TEL.03-3582-3021 FAX.03-3582-3371▶旅行に関する問い合わせ=日本通運(株)新宿旅行支店 〒161-0033 東京都新宿区下落合2-3-18 S Kビル4階 TEL.03-5983-0135

宇都宮←成田空港

(直通高速バス マロニエ号)

空港ターミナル出発ロビーへ2時間50分!

●運賃・片道

大人 4,070円

小人 2,040円

●15名様以上団体割引

●お問合せ・ご予約は

マロニエ予約センター または関東バス各営業所へ
☎(028)638-1730

成田空港ゆき		宇都宮ゆき	
宇都宮発	成田空港着	成田空港発	宇都宮着
5:10	8:00	8:30	11:20
6:10	9:00	14:40	17:30
8:30	11:20	15:40	18:30
10:10	13:00	17:00	19:50
12:00	14:50	18:10	21:00
14:00	16:50	19:40	22:30

栃木県交響楽団

第68回

定期演奏会

曲目 ボロディン／歌劇「イーゴリ公」序曲
ショパン／ピアノ協奏曲第1番
シベリウス／交響曲第1番

指揮
田久保 裕一



ピアノ
イリーナ・メジューエワ



2/13 (日)

2:00PM ▶宇都宮市文化会館大ホール全自由席
¥1,500 宇都宮市内ブレイガイド・チケットぴあ
お問い合わせ 栃木事務局 ☎028-643-5288

TIA Information Corner

★マルチカルチャー講座開催

TIAでは、2月、3月の土曜日に、在県外国人を講師とした、外国文化を知るための講座を開催します。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

TIA 028-621-0777

★Multi-Cultural lesson

We are going to have multi-cultural lessons on Saturdays in February and March. We will focus on one country's culture on each of the days. Topics will include; the country's introduction, special or traditional things about the country, language lesson, and answering questions about the country. The lectures will be held in Japanese.

For more information, please call TIA at 028-621-0777.

★TIA情報コーナー

とちぎ国際交流センター1階ラウンジのインターネットコーナー隣に、情報コーナーを設置しました。このコーナーでは、



TIAに送られてきた国際交流・国際協力・国際理解等に関する団体等の資料を分類、自由に閲覧できるようになっています。また、閲覧資料のほか、配付可能なパンフレット等が閲覧ファイル横のボックスにあります。

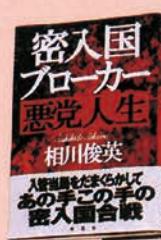
ぜひ、ご活用下さい。

宇都宮市滝谷町交差点（うう～なんてローカルな話題）の近くにアメリカ資本の大型おもちゃ店がある。11月に来県したインディアナ州副知事団のバスがこの前を通った時、団員から「うおーっ。店名が日本語で書いてあるー！」と歓声があがった。その後、バスのあちらこちらから「そういうえば、子供（孫）から『日本土産はポケモングッズお願いね』って言われたんだ！」との声が。「おもちゃ屋に行く予定はないのか？」と聞かれたが、議員さんを中心とする大人の方々をおもちゃ屋にご案内する予定はたてておらず、ご案内した観光地にもおもちゃ屋はなかった。皆さん、恨まないでね。

※財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人（寄附金の損金算入等の課税特別措置）の認定を受けています。当協会の事業にご賛同下さる企業、団体等からのご出捐をお願いいたします。

■TIAライブラリー案内 (貸出のお問い合わせはTIAまで)

●密入国ブローカー悪党人生



正規の手続きを経ずに外国人を日本にもぐり込ませるために、あらゆる手段を駆使する「密入国ブローカー」。他人のパスポートを利用したり、偽のツアーで出国するなどして入国管理局を欺く。

そこには、日本人の常識が通用しない事態が展開している。

フリージャーナリストの著者が自ら接したブローカーや密入国者たちの生身の姿を通して、今、我々が晒されている現実が見えてくる。（相川俊英著／株式会社発行／1600円+税）

●中高年、はつらつと海を渡る



勤労意欲もあり、技術や経験もある日本の定年退職者。しかし、日本ではそうした人々の活躍する場を見つけるのが難しいのが現状である。こうした中で、開発途上国への協力活動に身を投じ、生き甲斐を見いだす人たちがいる。

本書では、海外シルバーボランティア第1号で80歳の今も現役で海外で活躍する男性や定年を機に海外協力のため渡航した夫婦、途上国への協力で新しい人生を切り開

く女性など、シニア世代で活躍する国際協力人たちを取材し、紹介している。現役で生き生きと輝くシニア世代の素顔がわかる1冊。（青木 公著／国際協力出版会発行／1800円+税）

●ワーキングホリデー in フランス



日本は現在、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、フランス、韓国の5か国とワーキングホリデーの取り決めを行っている。本書はその中のフランスに焦点をあて、制度の内容などについて紹介している。（オセアニア交流センター編／株式会社発行／1800円+税）

TIA賛助会員募集中！

賛助会員になりますと、TIAの機関紙各種刊行物、催事情報等が受けられます。またテレビ方式変換ビデオ（海外→日本、日本→海外）をご利用できます。その他会員証の提示により、指定店での割引等の特典もあります。年会費は個人3,000円、団体10,000円、法人30,000円。※賛助会費と出捐金の運用益は、TIAの様々な事業に使われており、地域の国際化のために役立っています。

<新規賛助会員の方々>

個人：アレック・リバーモア様、高田 優様、ブルース・クロプスティング様
～ご入会、ありがとうございます～

